

## 高知県Next次世代型施設園芸農業に関する産学官連携協議会 [H30.7.6設立]

### 【構成員】

高知県知事、国立大学法人高知大学学長、高知県公立大学法人高知工科大学学長、高知県農業協同組合中央会会長、高知県園芸農業協同組合連合会代表理事会長、(一社)高知県工業会会長、高知県IoT推進ラボ研究会会長、(株)四国銀行代表取締役頭取、(株)高知銀行代表取締役頭取

**事業責任者** (プロジェクト全体の責任者)

高知大学 受田浩之副学長

### 専門部会

#### ①IoPプロジェクト研究推進部会

[IoPプロジェクトに関する研究の推進]

#### ②人材育成部会

[大学連携による高度な専門人材の育成]

②及び③の部会の構成等は、検討中

#### ③ IoP推進機構検討部会

[IoP推進機構(仮称)の設立の検討]

**中心研究者**  
(研究の指揮・統括)

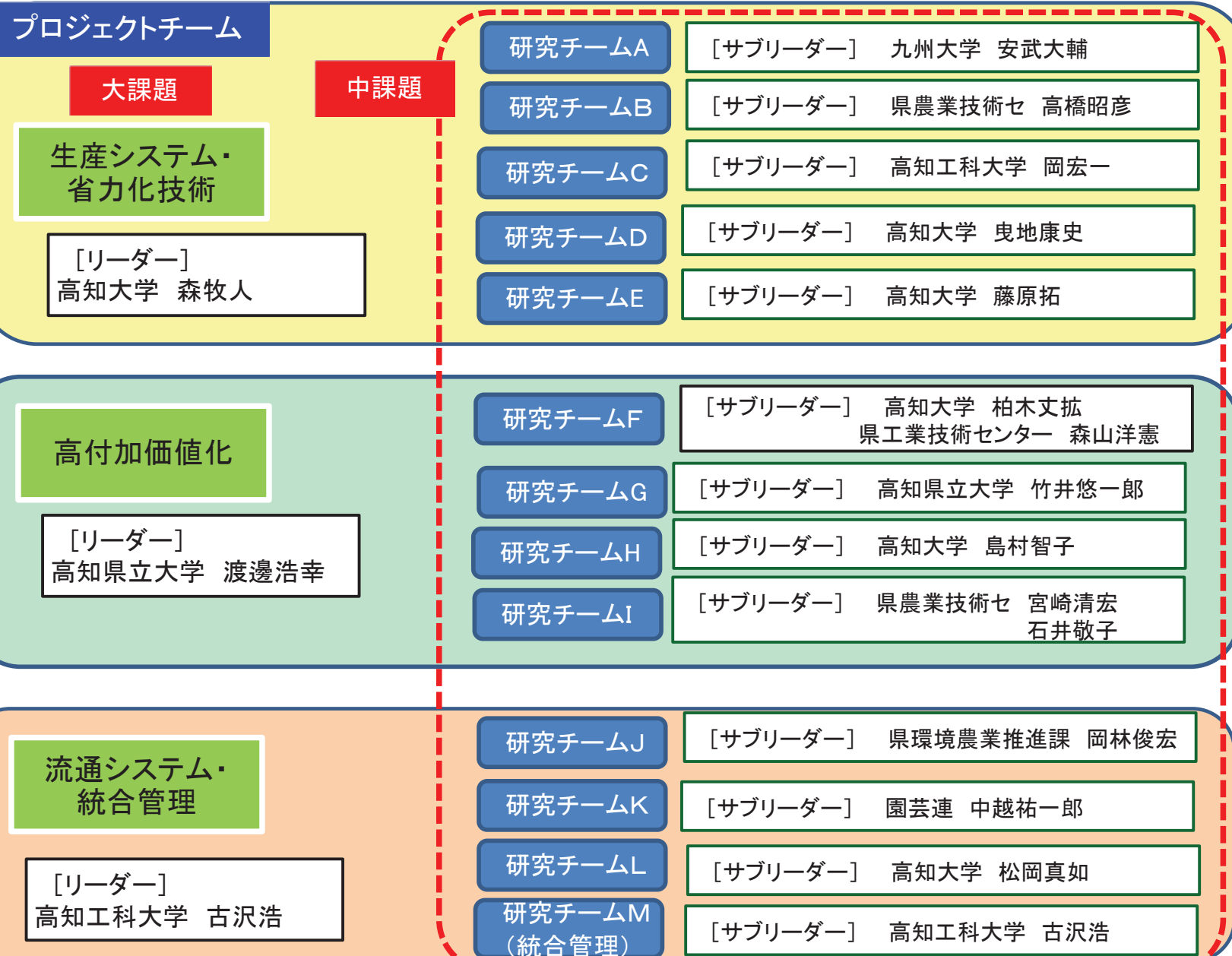
**スーパーバイザー**  
(プロジェクトへの協力、助言)

<予定者>

- ・東京大学大学院情報学環 副学環長・教授 越塚登 氏
- ・(株)日本総合研究所創発戦略センター エキスパート(農学) 三輪泰史 氏
- ・国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構農研機構野菜花き研究部長 坂田好輝 氏
- ・国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構農業工学研究部門農業施設ユニット長 奥島里美 氏
- ・オランダグリーンポート戦略アドバイザー アントン・ファン・デ・ベン 氏
- ・オハイオ州立大学食物農業環境科学部教授 チェリ クボタ 氏

- [IoP研究分野]**  
九州大学大学院 北野雅治教授
- [データサイエンス分野]**  
高知工科大学情報学群 福本昌弘教授
- [サステナブル研究分野]**  
高知大学農林海洋科学部 藤原拓教授

- 中心研究者の補佐役として、**研究コーディネータ**を置く
- 研究テーマ(大課題)ごとに「**プロジェクトチーム**」を設置し、それぞれに**リーダー**を置く。  
<リーダーの役割>  
・PT全体の研究の進捗管理、調整  
・研究チーム間の研究の調整等
- 研究テーマ(中課題)ごとに「**研究チーム**」を設置し、それぞれに**サブリーダー**を置く。  
<サブリーダーの役割>  
・研究チームの研究の進捗管理、調整等



■「課題解決型産業創出」の仕組みによる第一次産業等のニーズと県内企業(高知県工業会、高知県IoT推進ラボ研究会の会員企業等)のシーズとのマッチング

- 県外・海外とのネットワークの活用  
<>内は協定締結月
- ・経済同友会<H29.6月>
  - ・東京大学大学院情報学環<H30.6月>
  - ・東京農業大学<H28.10月>
  - ・オランダウエストラント市<H21.11月>
  - ・包括協定企業33社(H30.6月現在)等

IoTプロジェクト研究推進部会の研究テーマ（H30.7.1現在）

[敬称略]

プロジェクトチーム(大課題) [リーダー名]	研究チーム		
	中課題名	サブリーダー	
生産システム・省力化技術 [高知大学 森牧人]	A	IoTの基盤となる植物生理と作物生育の動的モデルの確立と同定	九州大学 安武大輔
	B	光合成・生育・収量の評価・予測・調節のためのIoT構築と検証	県農業技術センター 高橋昭彦
	C	省力化・省エネルギー化のためのIoT導入と評価	高知工科大学 岡宏一
	D	IoTによる病害虫予察と防除技術の確立	高知大学 曳地康史
	E	環境保全と付加価値創出を両立するサステイナブル園芸農業のためのIoTの確立	高知大学 藤原拓
高付加価値化 [高知県立大学 渡邊浩幸]	F	農作物に含まれる栄養成分、機能性成分等の一斉分析評価系の構築	高知大学 柏木文祐 県工業技術センター 森山洋憲
	G	IoT生産作物の品質評価	高知県立大学 竹井悠一郎
	H	IoT生産作物の機能性成分評価	高知大学 島村智子
	I	栄養成分、機能性成分を強化した品種、栽培方法の開発	県農業技術センター 宮崎清宏、石井敬子
流通システム・統合管理 [高知工科大学 古沢浩]	J	出荷量・出荷時期等の予測システムの開発	県環境農業推進課 岡林俊宏
	K	園芸品の流通における商流(販売情報)と物流の最適化システムの開発	園芸連 中越祐一郎
	L	国際水準GAP対応と高度なトレーサビリティシステムの開発	高知大学 松岡真如
	M	IoTが導く生産から流通までの情報クラウドの統合と全戸へのフィードバック手法の開発	高知工科大学 古沢浩